

熱い心を持つ若手市長が集結！

全国青年市長会総会が白石市で開催

8月17日、全国青年市長会（会長・柳田清二^{やなぎだせいじ}長野県佐久市長）の総会がベネシアンホテル白石蔵王で開催されました。

49歳までに当選した市長で組織されるこの会は、昭和63年に設立され、現在81市の市長が参加しています。32回目となる今回の総会には全国から25市が出席。開催市となった山田市長は「エネルギーな市長の皆さんが、熱い心を持って地域の発展、活性化のために汗を流す姿に大きな刺激をいただいています」とあいさつしました。

総会では、役員改選などの議事のほか、会員市の特色ある施策の表彰や、大阪府北部地震・西日本豪雨による被災地への支援内容も報告。

総会終了後には、本市歴史文化アドバイザーの若柳梅京先生による基調講演が行われました。ほかにも市内施設の視察も行い全国の市長へ本市の魅力をPRすることができました。



1_ベネシアンホテル白石蔵王で開催された総会 2_碧水園で梅京先生から日本舞踊の手ほどきをうける 3_北は北海道名寄市、南は沖縄県石垣市から集まった青年市長

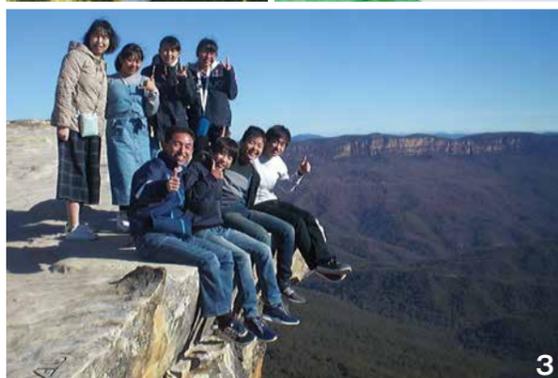
文化の違いを肌で実感！

オーストラリア友好親善訪問団解団式

市内の中学生6人と引率者2人を含む「オーストラリア友好親善訪問団」が、7月25日から8月2日までの日程でオーストラリアを訪問しました。団員たちは、日本と縁の深いカウラでホームステイをしながら学校体験をしたり、ホストファミリーに書道やお茶などの日本文化を紹介したりしました。

また、シドニーでは（一財）自治体国際化協会シドニー事務所を訪問して、海外で働く日本人スタッフから貴重な体験談を聞くなど、オーストラリアと日本との文化や生活習慣の違いを学びました。

8月23日の解団式で団員たちは、「初めはうまく話せなかった英語が、滞在中にどんどん話せるようになりました」、「今回の訪問で学んだことを白石の人たちへ伝えていきたいです」と感想を話していました。団員たちは心身ともに一回り成長した姿を見せてくれました。



1_ホストファミリーへ書道を披露。書き上げた文字は「意気投合」 2_カウラの学校では外で仲良くランチタイム！ 3_ブルーマウンテンの絶景ポイントで記念撮影。

みんなを笑顔に 緑のカーテン

南保育園でゴーヤの収穫を行いました

8月20日、南保育園の園内で育てているゴーヤを園児たちが収穫しました。このゴーヤは今年5月に、夏場の保育室の温度上昇を防ぐと園児たちが苗を植えたもの。成長した「緑のカーテン」に実っている大きなゴーヤを園児たちはていねいに収穫していました。収穫したゴーヤは給食で夏野菜カレーとして食べたり、家に持ち帰ったりしました。

園児たちは「おうちでパパとママと食べたいです」と笑顔で話してくれました。



▲収穫したゴーヤは近所の方にもおすそわけしました

災害時の対応に地図情報の活用を

災害時に地図製品の供給を受ける協定を締結

8月30日、本市は、住宅地図などを販売する株式会社ゼンリンと「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を締結しました。災害時は、被害状況の調査や把握・安否確認などに住宅地図の利活用が想定され、本協定により、最新版の住宅地図や市全域を網羅した広域図などが提供されることとなります。

福元^{ふくもと}エリアグループ長は、「地図の活用により市民の皆さんの防災・減災の一助となれば幸いです」と話していました。



▲締結式に出席した（左から）菊地正昭副市長、山田市長、岡野勇仙台営業所長、大平長太郎東北自治体営業課長、福元宏総合販売本部東北第一エリアグループ長

鎌先温泉に新しい交流拠点

旧鈴木屋売店に「粋」がオープン

9月15日、鎌先温泉に地域の新しい交流拠点「粋」がオープンしました。店舗は昨年6月に閉店した旧鈴木屋売店を改装し、多摩美術大学の大学院生が中心にデザイン。約20席のテーブル席やフリースペースを設け、店内での飲食を中心に、地場産品や工芸品、県内の特産品などの販売をしています。

店舗を開設し運営する合同会社「粋」代表の田切^{たぎり}富生^{とみぶ}さんは「地域の交流拠点として、長く愛される施設にしたいです」と話していました。



▲県内の良質な商品約100品目が並んでいます